

令和7年度 林分条件調査表

森林管理署	盛岡森林管理署
物件番号	1
物件名	森林環境保全整備事業(毛無森国有林Ⅰ)

林小班	保安林種別等	主要樹種	林齢	事業区分	伐採方法	面積 ha	伐採率 %	平均胸高直径 cm	立木資材量			生産量			予定作業量												最寄り市町村からの距離 km	備考						
									本数	材積 m ³	m ³ /本	N m ³	L m ³	計 m ³	伐倒		集・造材		小運搬巻立			森林作業道作設		林地保全		土場作設等 h			砂利数量 m ³	薬剤散布 (SEIイ)	鉄板規格*枚数			
															方法	数量 m ³	方式	数量 m ³	フォワード 片道運搬距離 m	数量 m ³	ガフブル付きトラク 片道運搬距離 m	数量 m ³	林地傾斜 緩・中・急 m	延長 m	2種 編組 m							緑化 m ²		
529L3	水涵保	アカマツ	70	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	5.46	33	24	1,159	554	0.48	184	28	212	全木	554	プロセッサ	212	192	212	9,100	212	中										盛岡市役所 27.5	
529L4	水涵保	カラマツ	70	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.20	33	26	611	326	0.53	93	28	121	全木	326	プロセッサ	121	277	121	8,400	121	中										盛岡市役所 26.8	
529L5	水涵保	カラマツ	58	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	3.75	33	20	1,298	449	0.35	195	3	198	全木	449	プロセッサ	198	281	198	8,400	198	中										盛岡市役所 26.8	
529L6	水涵保	カラマツ	71	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	6.08	33	22	1,317	460	0.35	98	60	158	全木	460	プロセッサ	158	204	158	9,200	158	中										盛岡市役所 27.6	
529L7	水涵保	スギ	71	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	2.48	33	24	500	223	0.45	71	43	114	全木	223	プロセッサ	114	424	114	8,700	114	緩										盛岡市役所 27.1	
529ろ2	水涵保	ヒノキ	73	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	12.16	33	26	2,837	1,717	0.61	441	73	514	全木	1,717	プロセッサ	514	502	514	8,700	514	緩										盛岡市役所 27.1	
529ろ3	水涵保	カラマツ	60	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	15.22	33	22	4,417	1,809	0.41	696	63	759	全木	1,809	プロセッサ	759	346	759	10,300	759	中										盛岡市役所 28.7	
529ろ5	水涵保	スギ	59	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	7.76	33	24	2,124	1,027	0.48	393	13	406	全木	1,027	プロセッサ	406	261	406	9,800	406	緩										盛岡市役所 28.2	
529ろ7	水涵保	カラマツ	59	保育間伐(活用型)	列状間伐(1伐2残)	2.99	33	20	813	310	0.38	118	11	129	全木	310	プロセッサ	129	135	129	9,300	129	緩										盛岡市役所 27.7	
合計						59.10			15,076	6,875	0.46	2,289	322	2,611		6,875		2,611		2,611		2,611											薬剤散布:800m ³ 分 砕石:RC-80 18m ³ 、岩ズリ6m ³	

1 量の端数は単位以下第1位を四捨五入し、単位止めとする。
2 面積は伐採面積とする。
3 森林作業道作設の林地傾斜欄は以下の区分とする。
緩:0° ~20°、中:20° ~30°、急:30° 以上
4 森林作業道作設の土質等欄は、作設に当たり特に留意する必要がある場合に記載する。
5 最寄りの市町村役場(支所含む)からの距離欄は、物件番号毎の代表箇所について市町村役場を記入し、距離は単位以下第
6 伐採箇所、土場、森林作業道作設予定線(既設集材路含む)、編柵および沢については、作業計画図に図示する。
7 その他必要な項目があれば備考欄に記載する。

特記仕様書（森林環境保全整備事業（毛無森国有林Ⅰ））

- 1 虫害時期においては、防虫対策として薬剤散布を行い製品の品質管理に努めること。
- 2 特別な事情がある場合には、国有林材の生産時期及び数量を変更することがある。
- 3 林業機械が林道を走行する場合は、雨天時を避ける等林道の保全に努め、販売した丸太を運搬する時の支障とならないようにすること。
- 4 森林作業道の作設にあたっては、事前にGPS等を用いて現地を踏査し、予定路線に印をつけたうえで実行すること。また、計画路線に変更が生じる場合は、事前に監督員による確認を受けること。各月の作設状況を確認するため、前月までに作設した路線を記入した図面を、毎月5日までに提出すること。
- 5 製品の品質管理のため、広葉樹一般材や特殊用材の生産が見込まれる伐区は、伐採時期を9月中旬以降とすること。ただし、監督員の許可を得た場合は、この限りではない。
- 6 公道に近接した事業地については、通行者の有無によらず、道路に立木が倒れないよう伐採方向等に十分注意して作業を行うこと。また、道路及び下流域に枝条や土砂等が落下・流出しないよう十分な対策を講じること。
- 7 事業地に至る公道（盛岡大迫東和線）は冬季通行止めが見込まれることから、閉鎖期間に通行する場合は、事前に関係機関と調整を図ること。
- 8 アカマツの伐採を行う場合は、岩手県農林水産部「松くい虫対策としてのアカマツ伐採施業指針」に従い作業を行うこと。
- 9 小運搬先として予定している峠林道は、森林環境保全整備事業（毛無森国有林Ⅱ）においても使用を想定していることから、土場の位置や使用方法等については監督職員の指示を受けるとともに、森林環境保全整備事業（毛無森国有林Ⅱ）の請負者と調整を図りながら使用すること。

検知業務請負作業内訳書（森林環境保全整備事業（毛無森国有林Ⅰ））

単位：m³

物件番号	材種	作業工程	予定数量	備考
1	素材	(1)の業務	800	
		(2)の業務	430	
		(5)の業務	1,381	
	計		2,611	

検知業務請負（作業内容）

- (1)の業務 素材の長級・径級を測定、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (2)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行い、指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (3)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示を行う作業、トラック運材の積み込み本数を確認し送状に記載・交付する作業、及び最終貯木土場において指定野帳に記入し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。
- (4)の業務 素材の長級・径級を測定、品等格付け、木口表示、材積計算を行い、送状（概算引渡物件明細書）を交付し、スプレーの塗布を行う作業。
- (5)の業務 低質材及び低評価一般材の層積検知（縦、横、高さを測る）を行い指定野帳に記載し、巻立標示板の貼り付け、スプレーの塗布を行う作業。